VACUUM2015 真空展開催

平 田 祥一郎^{*1,*2}

Japan Vacuum Show “VACUUM2015”

Shoichiro HIRATA^{*1,*2}

^{*1}The Japan Vacuum Industry Association, Japan Vacuum Show Committee, the member, Onarimonyusen BLDG. 13F, 3-23-5 Nishi-shinbashi, Minato-ku, Tokyo 105-0003, Japan

^{*2}COSMOTEC Corporation, Tokai Nihonbashi BLDG. 6F, 4-3-4 Nihonbashi-Honcho, Chuo-ku, Tokyo 103-0023, Japan

(Received June 10, 2015, Accepted June 12, 2015)

—VACUUM2015 真空展について—

2015年9月8日（火）から9月10日（木）までの3日間、パシフィコ横浜において、真空機器、真空装置の総合展である「VACUUM2015 真空展」を開催いたします。

2015年の真空展は、「難加工技術展2015」「表面改質展2015」（主催：日刊工業新聞社）と共同で開催することとなりました。

毎年国内で開催される600件近い展示会の中で、「真空展」は、技術開発、製品製造、販売など真空に関わる企業、研究者が毎年多数来場する唯一の「真空技術専門の展示会」です。ご存知のとおり、真空技術は半導体、フラットパネル、電子部品分野をはじめ食品、医療、分析機器や新エネルギー分野など、多くの産業分野における基盤技術であり、今年も多くの来場者が見込まれる展示会です。

図1は昨年の展示会入場口の様子です。

—併設展について—

日本だけでなく世界のものづくりにおいても、省エネルギー化・高精度化といったキーワードは重要性を増してきております。今回の併設展である「難加工技術展」「表面改質展」は、こうしたものづくりの流れを支える高い技術力や優れた機器などが集まる展示会です。

両展示会は、これまで名古屋で開催されており（「表面改質展」は大阪でも開催）西日本のものづくり関係者の間では好評いただいております。長く日本のものづくりを支えてきた真空展との親和性は高く、多くの出会いの機会、高い相乗効果が得られると期待しております。これらの展示会に出展の各企業より、自慢の製品や最新の技術が出展されるものと思われま

す。今回で37回を迎える、歴史ある「真空展」をお見逃しのないよう是非ご来場くださいますようお願い申し上げます。

図2は昨年の展示会会場の様子です。

図1 展示会入場口の様子。

図2 展示会会場内。

—今年の見どころ—

真空展は出展企業による展示だけでなく、併催事業に人気があるのも特長です。

「見えないけれど、今年も魅せます。」をテーマに、今年も例年通り多くのフォーラム・セミナーが展開されます。

今回は日本真空工業会の創立30周年記念特別講演として、2014年ノーベル物理学賞受賞者である「天野 浩氏」による講演会を企画しております。9月9日（水）13:00～14:30、パシフィコ横浜内特設会場において、『真空技術とLED開発の歴史および未来の照明について（仮称）』定員：500名

^{*1} 日本真空工業会 展示会委員会 委員（〒105-0003 東京都港区西新橋 3-23-5 御成門郵船ビル13F）

^{*2} コスモ・テック株式会社 東京営業所（〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-3-4 東海日本橋ビル 6F）

図3 セミナーの様子。

(聴講無料)で開催いたします。多くの方の来場をお待ちしております。

図3は昨年のセミナーの様子です。

また会期中毎日、午前中に開催される「真空入門講座」は、これから真空産業に関わる方々を対象とした真空技術の基礎的な知識を得るための講座です。講座を受講し、基礎知識を得た上で真空展を見学する事ができるので、真空初心者にたいへん人気の講座です。また、真空技術者資格認定試験を目指す方にも最適な講座です。出展者ワークショップも毎日開催しておりますので奮ってご参加下さい。

9月8日(火)と9月9日(水)の2日間にわたり、真空技術のさらなるステップアップを目指されている方、超高真空に興味をもたれている方向けに、今年初めて「超高真空技術講座」(会議室 E205 [8日], E204 [9日])も開催します。「真空入門講座」の補完的な位置付けにもなり真空初級者はもちろん中級・上級者の方でもご満足いただける内容となっております。

その他の企画を日程順にご紹介します。

9月8日(火)は「環境トピックス」(会議室 E205)、「規格標準報告会」(会議室 E204)が行われます。

9月10日(木)は会議室 E204において「真空シンポジウム」を開催します。真空技術を科学の面から掘り下げ、新しい展望と展開を探ります。

これらのフォーラム・セミナー以外にも、真空技術に関する研究内容をポスター展示する「研究紹介コーナー」や真空に関わる学生を招いて展示会を案内する「学生ツアー」も好評です。

研究紹介コーナーは、大学・大学院・公的研究機関が真空技術に関わる研究内容をポスターで紹介するコーナーで、毎年多くの参加があります。

学生ツアーは、学内での研究や今後の就職活動に役立ててもらう事を目的に、大学生を中心とした学生に真空展を紹介する企画です。我々主催者が真空展会場を案内し、事前に受け入れを承諾いただいた各ブースでは、説明員が自社の自慢の製品について詳しく説明してくれる段取りになっています。

—30周年企画について—

おかげさまで日本真空工業会は今年で30周年を迎えることが出来ました。今年は30周年企画として最初にも述べましたが「天野 浩氏」に登壇いただくほかにも、色々な企画を推し進める予定であります。

その中でも目玉の一つは真空の事が一目でわかる人気の「真空ポケットブック」(各日先着1,000冊/3日間3,000冊)及び真空ジャーナル・30周年記念号(各日先着2,000冊/3日間6,000冊)の無料配布です。特に「真空ポケットブック」は好評いただいている内容に最新情報も加えたパワーアップ版となっております。

また主催者ゾーンでは、各出展社のエコ・省エネ自慢をしていただくためのコーナーを大々的に設けます。真空技術を取り巻く省エネ、高効率化対策のヒントを是非ともつかんでいただければと思います。

さらに昨年好評だったパーソナルモビリティ UNI-CUBの体験を今年も実施します。今回はより UNI-CUB を楽しんでもらうと乗車回数を増やしております。展示会における FUN, 異なるアクセントをつける事が出来る企画としてお楽しみ下さい。

—最 後 に—

主催者といしましては、「出展して良かった」、また「来場して良かった」真空展を目指して、真空展の質の向上を図り、魅力ある展示会となるよう努力してまいります。

時代に合わせて変化を続ける「真空展」にご期待いただき、パワーアップした「真空展」へ今年もご来場賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

なお、真空展のホームページに最新情報が掲載されますので、こちらをご参照ください。

(<http://www.nikkan.co.jp/eve/vacuum/>, Last accessed: 2015-06-22)